

湯河原ロータリークラブ

WEEKLY REPORT



ロータリー： 変化をもたらす

第 2713回 例会
平成30年3月23日 (金)
天候 曇り
合唱 それでこそロータリー

会長 石倉 幸久

幹事 渡辺 久恭

事務所 神奈川県足柄下郡湯河原町宮上566湯河原温泉観光協会内
TEL 0465(64)1234 FAX 0465(63)1716

例会場 静岡県熱海市泉107 ニューウェルシティ湯河原
TEL 0465(63)3721 FAX 0465(63)6401

例会日 毎週金曜日 12:30~13:30

会長挨拶

北海道の東川町では、ここ24年間で人口が約2割も増えております。

東川町は、旭川空港から車でおよそ10分と近いため、東京まで最短2時間で行くことが出来るそうです。そんな便利な立地にありながら、町民全員が井戸水で生活しているという豊かな自然環境が残っております。

毎年400人程度いる転入者のうち、最も多いのが、旭川から年間150人程度とのこと。さらに、関東圏からも毎年30~40人が移住してくるそうでした、このようにUターンや移住によって東川町で暮らし始める方の中に、お洒落なお店を始めようという人が結構な数いらっしゃるため、ここ10年で飲食店が2倍以上に増えているそうです。

転入する方々の年齢層は、30~40代の「子育て世代」の方が多く、人気の背景には、先程申し上げたような豊かな自然環境に加えて、統一感のある景観も大きな役割を果たしているようです。そうした景観が形成されている背景には、2002年に景観条例を制定し、「住宅設計指針」というデザインの指針も示すなど、東川町行政の積極的な取り組みがございます。

旭川という都会に近接しているという便の良さと、今なお残る豊かな自然という「元々の強み」に甘えることなく、むしろ「強み」に磨きをかける努力を続ける姿勢こそが、東川町の成功の要因であり、学ぶべき点であると言えます。

幹事報告

国際ロータリーより

1. 信任状を印刷して代議員に渡し、国際大会にご持参ください。

米山梅吉記念館より

1. 春季例祭のお知らせ

日時：4月21日(土) 14時~

場所：米山梅吉記念会 ホール

連絡事項

- 4月は第4回目の会費の集金月となりますので、皆様のご協力をお願い致します。
- 4月の例会は、6日、13日、20日、27日です。6日は高橋県議、13日は富田湯河原町長、20日は宇賀真鶴町長の卓話になります。27日は16時30分より湯河原美術館見学した後、エクシブ湯河原離宮へ移動しての例会及び懇親会です。尚、4月の例会場は「ゆがわら万葉荘」となりますのでお間違えの無いようお願い致します。
- 4月8日は地区研修協議会です。出席義務者の方は宜しく申し上げます。

スマイルBOX

結婚記念日 西山 敦君 (3/28)

結婚記念日 小倉高代君 (3/30)

ご夫人誕生日 常盤章夫君 (敦子様・3/27)

石川博君・神谷一博君 母校が甲子園に出場することになりました。

石田浩二君 本日の卓話ですがゲストスピーカーとしてREVICの米森智基様にお願い致しました。

宜しくお願い致します。

石川博君 ネームプレートを間違えました。

出席報告	ゲスト 1名	ビジター 0名	会員24名
	欠席1(免除者0名)		前回の修正出席率95.83%
	出席率95.83%		前々回の修正出席率86.96%

事前メイクアップ 0名

石田浩二君

代講 REVIC 米森智基様

本日は、湯河原町における「かながわ観光活性化ファンド」（以下、「ファンド」という）による取組みに関してご説明させていただきます。

湯河原町では、昨年のエキシブ湯河原離宮のオープンを皮切りに、10月には駅前広場が、11月にはちぼり湯河原スイーツファクトリーが完成するなど、昨年から本年にかけて拠点整備が集中しております。また、町立美術館のカフェが3月24日にオープンし、湯元通り的美装化も既に開始されております。そうした中、本年の秋には温泉場の富士屋旅館がリニューアルオープン予定でございます。

富士屋旅館は、明治創業の老舗温泉旅館ですが、およそ15年間遊休状態でした。この富士屋旅館を再生させるため、地域経済活性化支援機構（REVIC）と横浜銀行が出資するファンドが5億円規模の投資を実行致しました。また、横浜銀行も5億円の協調融資を行っております。これに関しては、昨年3月17日付の日本経済新聞（全国版）に掲載されました。

富士屋旅館の再生は、あくまで現状の建物を残したまま、改修・改装を行い、全18室の客室と、外部客も利用可能なレストラン・カフェ等を整備致します。4月から改修・改装工事が着工する予定ですが、それに先行して、橋梁の補強工事は既にスタートしております。工期は半年程度を見込んでおりますので、今年秋には竣工予定でございます。

リニューアル後は、大手飲食企業の際コーポレーションが運営します。同社は、飲食店の運営のみならず、京都や金沢、長崎の五島列島などで高級宿泊施設を運営しております。また、同社は歴史ある建物をリノベーションした出店実績を多数お持ちですので、今回の富士屋旅館リニューアルに際しても、そういったノウハウを最大限活用していただきます。なお、飲食企業である際コーポレーションの強みを活かすべく、富士屋旅館の再生コンセプトは、「和のオーベルジュ」でございます。

ファンドから富士屋旅館への投資は昨年3月15日に実行されまして、同月29日には、湯河原町、湯河原温泉まちづくり協議会、一般社団法人ノオト、横浜銀行、REVICの5者で「神奈川県湯河原町の歴史的資源を活用した地域活性化に向けた連携協定」（以下、「連携協定」という）を締結致しました。

その後、昨年6月1日に、温泉場エリアのまちづくりを推進するため、「株式会社癒し場へ」（以下、「癒し場へ」という）というまちづくり会社が設立されました。癒し場への代表取締役は、旅館協同組合の理事長などを務める山本一郎氏で、取締役には本日ご列席の石田浩二氏と鈴木呉服店の鈴木龍介氏が就いておられます。

ファンドは、連携協定に基づく面的活性化の取組みを加速させるため、癒し場へに対する投資を決定致しました。ファンドからの投資資金を活用して、癒し場へは温泉場で2軒の店舗をリニューアルします。



卓話 REVIC米森智基様

1軒目は、湯元通りのつたや名産店で、株式会社フォレストに運営を委託します。同社は、フォレストグループ傘下の鮮魚店である魚浦商店の直営で海鮮料理屋をオープンさせる予定です。つたや名産店は、食事処かどうの隣に位置する老舗土産店ですが、食事処かどうの入口と近いテイストで、木を多用したレトロかつあたたかみのある外観へとリノベーションします。リニューアル後は、全32席の予定です。魚浦商店は、箱根の宮ノ下に位置する大正7年創業の老舗鮮魚店であり、富士屋ホテルなど箱根の宿泊施設との取引実績が多数ございます。リニューアル後の店舗マネージャーは、現在フォレストの運営施設である杉菜の板場に勤務されている下田氏が務める予定でございます。

2軒目は、温泉場商店街の旧スマートボール店で、東京からの移住者である日野氏に運営を委託します。ソムリエ資格を有し、飲食業界の経験が豊富な日野氏は、昼はカレーやサンドウィッチ等の軽食を提供し、夜はワインバルを営む予定です。店舗の外観は、現状からそれ程大きく変更させることは致しませんが、つたや名産店と同様に木を多用し、入口には店名が入った石造りの門柱を配置する予定です。店内は、現状の建物の内装を活かして和モダンの雰囲気へとリニューアルします。この店舗は基本的に、日野氏1人で切り盛りする予定ですので、席数は全19席とこじんまりした規模を考えております。日野氏は、フレンチ、イタリアン、居酒屋など様々な業態の飲食店に勤務した経験をお持ちであり、ソムリエ資格を保有していることから、リニューアル後の店舗では、お客様の好みやその日の気分に合わせて最適なワインを提案し、また、ワインに合うフードを取り揃える予定です。

今後、ファンドとしては、上記の2軒に留まらず、温泉場の空き家・空き店舗の活用検討を継続し、面的活性化に貢献していきたいと考えております。